

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証シート

単位:千円

No.	交付対象事業の名称	経済対策との関係	事業費		事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	検証結果	事業担当課
			総事業費	交付金充当 経費					
合計			52,003	51,961					
1	喜茂別町生活応援商品券発行事業	①-Ⅲ-2. 地域経済の活性化	11,112	11,112	① 町内商工業者の収益減少並びに町民の所得減少に対する生活支援を目的として、生活応援商品券を発行し、地域経済の喚起を図る。 ② 商品券発行経費 ③ 商品券 1人 5千円×1,973人=9,865千円、発行経費 820千円、郵送 430千円 合計12,000千円 ④ 町民、事業者	R3.6	R4.3	町民への生活支援及び地域経済の活性化へつながった。	総務課
2	必需物品供給事業(庁舎)	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	774	732	① 役場庁舎等における感染症対策のための必要物品を整備し、感染拡大の防止を図る。 ②③ 手指用消毒液 60千円、清掃用消毒液 106千円、ハンドソープ 10千円 合計176千円 ④ 喜茂別町	R3.4	R3.12	感染症対策物品を整備し施設利用者及び職員の感染者及びクラスター発生防止につながった。	総務課
3	確定申告期の感染防止対策環境整備事業	①-Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	222	222	① 受け付けた申告を電子的に国税へ連携することにより申告者は待機時間が短縮され申告会場の混雑緩和が期待できる。併せて事務の迅速化・効率化が図られる。 ②③ 222,200円 ※内訳【e-Tax連携サービス導入費(初期費用:100,000円)、e-Tax連携サービス運用費(システム管理:102,000円@8,500*12ヶ月)消費税20,200円】 ④ 本町において受け付けする申告者のうち、当面は給与・年金所得者。	R3.7	R4.3	感染拡大の防止につながった。	住民課
4	喜茂別町交通事業者事業継続給付金事業	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	2,000	2,000	① 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、観光施設の休業や外出自粛により、利用者の減少など事業運営に多大な影響を受けている貸切バス、タクシーなどの運行を担っている交通事業者に対して給付金を支給し、事業の継続に向けた支援を行う。 ②③ 対象事業者(基本額) 2社 1,000千円×2社=2,000千円 ④ 貸切バス、ハイヤー事業者	R3.6	R3.7	町内交通インフラの維持へ寄与した。	総務課
5	喜茂別町商工事業者新型コロナウイルス感染症対策補助事業	①-II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	9,606	9,606	① 事業者が実施する新型コロナウイルス感染症防止対策に関し、その経費に対して補助金を交付し、町内事業者の感染症防止対策を推進する。 ② 補助対象経費の8/10以内とし、300千円を限度とする。補助対象経費は需用費(食糧費を除く)、役員費、委託料、工事請負費、原材料費、備品購入費。 ③ 35事業者、上限300千円、合計9,606千円 ④ 喜茂別町商工会会員	R3.4	R3.12	商工会事業者の経費を支援することによる商工業の継続へ寄与した。	産業振興課
6	必要物品供給事業(パークゴルフ場)	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	76	76	① 新型コロナ感染予防 非接触型の検温器を設置することで受付時の感染リスクや計測時間のロスが軽減される。 ② 検温器 ③ 1台、75,900円 ④ 町営パークゴルフ場	R3.7	R3.7	感染症対策物品を整備し施設利用者の感染者及びクラスター発生防止につながった。	建設課
7	必要物品供給事業(デイサービス等)	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	101	101	① デイサービス、各種介護予防事業における感染防止対策 ②③ 消毒液20,000円、手指消毒液30,000円、ハンドソープ20,000円、ペーパータオル30,000円、空気清浄機90,000円 合計190,000円 ④ デイサービス(総合事業含む)、介護予防事業利用者、デイサービス職員等	R3.4	R4.3	感染症対策物品を整備し施設利用者の感染者及びクラスター発生防止につながった。	元気応援課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証シート

単位:千円

No	交付対象事業の名称	経済対策との関係	事業費		事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	検証結果	事業担当課
			総事業費	交付金充当 経費					
8	必需物品供給事業(学校)	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	106	106	① 感染症対策のための必要物品を整備し、感染拡大の防止を図る。 ②③ 使い捨てマスク、消毒薬等感染拡大防止に係る経費 ニトリル手袋 10千円、マスク 18千円、消毒液 122千円、石鹼 87千円、給食配膳用手袋 11千円、マイク用不織布カバー 2千円、サーモカメラ 100千円 合計 350千円 ④ 喜茂別町	R3.4	R4.3	感染症対策物品を整備し施設利用者の感染者及びクラスター発生防止につながった。	教育委員会
9	密集軽減のための輸送能力増強事業	①-I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	1,673	1,673	① 通学時における公共交通バス等の密集を避けるため増車し、分散乗車することで感染症のリスク低減を図る。 ②③ 通学時の公共交通バスの密集を避けるため、増車する経費 ジャンボハイヤー 8,500円×200日 ④ 町立学校	R3.4	R4.3	バス利用する児童生徒の感染症リスクを低減した。	教育委員会
10	遠隔・オンライン学習の環境整備支援事業	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	478	478	① 臨時休校及びコロナ感染症対策等で登校できない児童生徒の学びの保証を図る。 ② 児童生徒宅とオンラインで遠隔授業を実施するためのポケットWi-Fi貸し出しに伴う通信料 ③ ポケットWi-Fi通信料 2台×4千円×12か月=96千円 8台×4千円×5か月=160千円 8台×500円×7か月=28千円 10台×500円×12か月=60千円 3台×4,330円×12か月=156千円 合計 500千円 ④ 町立学校	R3.4	R4.3	ポケットWi-Fiの貸し出しによる学びの保障につながった。	教育委員会
11	在宅勤務環境整備事業	①-IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	8,036	8,036	① 感染症拡大防止のため喜茂別町役場職員が利用する整備した在宅勤務環境を拡充するため、関係物品の整備及び既存の環境を当該物品の増加に沿った設定に変更する。また、文書管理システムや会計システムに電子決裁機能を導入することにより、テレワーク環境の充実を図る。 ②③ ノートPC 30台 5,520千円 DVDドライブ 30台 149千円 導入・設定変更業務費 1,350千円 文書作成・表計算ソフト 161千円 セキュリティ対策費 120千円 合計 7,300千円 ④ 喜茂別町	R3.10	R4.3	テレワーク環境の充実化によって感染リスク低減につながった。	総務課
12	公共的空間安全・安心確保事業	①-I-1. マスク・消毒液等の確保	269	269	① 役場庁舎等の受付スペース及び職員が使用する机にパーテーションを整備することにより、感染症拡大の防止を図る。 ②③ パーテーション(アクリル製) キャスター付き 33千円×20台=660千円、デスク用 33千円×8セット=264千円 デスク用(コの字) 40千円×8セット320千円 合計 1,244千円 ④ 喜茂別町	R3.10	R4.3	感染リスク低減につながった。	総務課
13	社会システム維持のための衛生確保事業	①-I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	1,421	1,421	① 公共施設の従事者の感染状況を確認するため、PCR検査キットを整備する。 ②③ PCR検査キット 4.5千円×100個 450千円 ④ 喜茂別町	R3.10	R4.3	感染症対策物品を整備し施設利用者の感染者及びクラスター発生防止につながった。	総務課

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証シート

単位:千円

No.	交付対象事業の名称	経済対策との関係	事業費		事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	検証結果	事業担当課
			総事業費	交付金充当 経費					
14	子育て世帯支援活動事業	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	45	45	① 新型コロナウイルスの影響により、修学旅行等においてキャンセルや変更が発生した場合、助成を行い子育て世帯及び教職員の支援を行う。 ② 修学旅行キャンセル料等の助成 ③ 【中学校】 宿泊研修日程変更に伴う補助 2,816円×16名=46千円 ④ 町立学校	R3.10	R3.10	生徒及び保護者の負担軽につながった。	教育委員会
15	ふれあい福祉センタートイレ改修事業	①-Ⅳ-4. 公共投資の早期執行等	1,525	1,525	① デイサービスセンターを実施する、下記施設における男女トイレの便器開閉及び洗浄を非接触タイプに改修及びセンサー洗浄式小便器のセンサーを修繕することで、新型コロナウイルスの接触感染によるリスク低減を図る。 ②③ 工事費 便座改修 7箇所 1,335千円、小便器修繕1箇所 108千円、合計 1,443千円 ④ 喜茂別町ふれあい福祉センター	R3.10	R4.3	非接触型のトイレの導入で感染リスクの高い高齢者が利用する施設での感染リスク低減につながった。	元気応援課
16	観光関連産業事業者事業継続支援事業	③-Ⅲ-3. 経済安全保障	10,500	10,500	① 新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に伴う、外出自粛等の影響により、来場者の減少など事業運営に多大な影響を受けている観光関連産業事業者(町が普通財産を貸し付け、観光関連産業を行っている事業者)に対して支援金を支給し、事業の継続に向けた支援を行う。 ②③ 対象事業者 2社 合計 12,000,000円 ④ 観光関連産業事業者	R4.3	R4.3	新型コロナウイルスにより多大な影響を受けた観光関連産業事業者の事業継続に寄与した。	産業振興課
17	医療機器購入事業	③-Ⅲ-2. 地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」	4,059	4,059	① 新型コロナ肺炎の重症度評価にも、エコーが有益であるとの知見が出ている。エコーはキャストがついているため診療室間の移動が可能であり、発熱患者に対して別室での検査が可能になる。新しい機械を導入することにより鮮明な画像診断による診療時間の短縮が図られるとともに、クリニックの滞在時間を短縮することで感染のリスクを低減できる。また、施設入所者や在宅生活者に発熱等の症状が出た場合、クリニックを受診させることなく往診等にてポータブルエコーにより対応することでクリニック内の密を防ぎつつ、患者間のコロナ感染のリスクを低減できる可能性はある。更に、胸痛メーターコバスを導入することで循環器疾患の診断スピードを向上させることにより、コロナ感染及び重症化リスクを低減することができる。 ② 機器購入費及び保守料 ③ エコー 1台 3,476千円 ポータブルエコー 1台 1,650千円 胸痛メーターコバス 1台 352千円 保守料 605千円 合計 6,083千円のうち2,070千円 ④ 喜茂別町立クリニック	R4.2	R4.3	超音波検査装置及びスクリーニング機器の導入によって診療・滞在時間の短縮により、感染リスク低減につながった。	元気応援課